

## 「人権講話」を行いました!

11月15日(木)に「幸せのカタチ。」と題した人権講話を実施しました。講師はフリーアナウンサーの林ともみさんです。

林さんは、娘さんが先天的な障がいを抱えており、医者にも「あなたの人生はあきらめてください。」と言われたそうです。その後、ラジオのパーソナリティーなどで福祉にスポットを当てて心のバリアフリーを浸透させようと様々な活動も行ってみえます。

今回の講話の中で、特別支援学校の現状を知ってもらおうと、特別支援教育の実情にスポットを当てた番組などを紹介してくださいました。障がいの程度に関わらず楽しそうに学校に通う生徒たちの姿や、生徒の増加に追いつかない教室や設備の補充など、話が進むにつれて知らなかった現状に驚く生徒もいました。

『幸せであるかは自分の心が決める。他人が決めることではない。』

『「幸」と「辛」の違いは棒線一本だけ。』

『幸せになる最も簡単な方法は、幸せだと思い込むこと。』

『生きているだけで丸儲け。』

『やっていることは同じでも見方を変えるだけで全く違う。』

自分なりの「幸せのカタチ。」を見つけるためには、見方や考え方を変えてみることも必要かもしれません。自らを今一度振り返ることのできるとても良い機会を与えていただきました。



(↓↓以下は、生徒の感想の一部です↓↓)

・障がいを持っている人たちでも楽しく生活をしている姿を見て、自分もちょっとしたことで落ち込んだりしないで、前を向いて小さな幸せを見つけたいと思いました。

・今回の講話を聞いて、幸せの感じ方やとらえ方は人それぞれだということが分かった。どんなことを抱えていても人は人で、その人の生き方や価値観があるのだから、たとえ自分が何も考えていない言動でも相手にはどう思われているか分からないので、自分の言動や態度に自覚を持って責任を持てるような人間になりたいと思った。

・講話を聞いて、障がいを持っている人もたくさん色々な人に支えられながら毎日を幸せに過ごしているんだと感じました。幸せだと言うことはとても大事なことなんだと思いました。同じ人であると言うことは変わらないです。助け合って生きていくということも大切だと思いました。

・今日の話聞いて、自分はいやなことがあったらすぐにくよくよしてネガティブになってしまうけど、生きていることが一番良いことだと思ったら少しは軽くなるなと思いました。

・幸せは人それぞれで他人が「あれができないから不幸だ」とか決められる者ではないと思いました。私も自分を人と並べて見てしまうところはあるけど、自分に自信を持っていただけるようになりたいなと思いました。

・障がい者の方と関わることはたまにあるのですが、その方々が暮らす背景は見たことがありませんでした。今回知ることができたので、もし何か私にできることがあるならばやっていきたいと思いました。

・今回の講話を受けて障がいを抱えるということについて深く考えることができました。障がいを持つことが必ずしも不幸につながるわけではないという考え方ができるのはとても素晴らしいことだと思います。それも講師の林さんの長年の経験ゆえの考えだと思います。私も障害を持った妹がいるので、妹と接する上でポジティブな考え方を持って接していきたいと思いました。今回はご講話してくださりありがとうございました。

・「幸せ」は自分の気持ちの持ち方次第だなと思いました。どんな些細なことでも幸せを感じられる人になりたいと思いました。